

高知城下町の歩み展

—絵図地図でタイムトラベル—

「志国高知 幕末維新博」関連企画展 第三弾



絵図地図はタイムカプセル

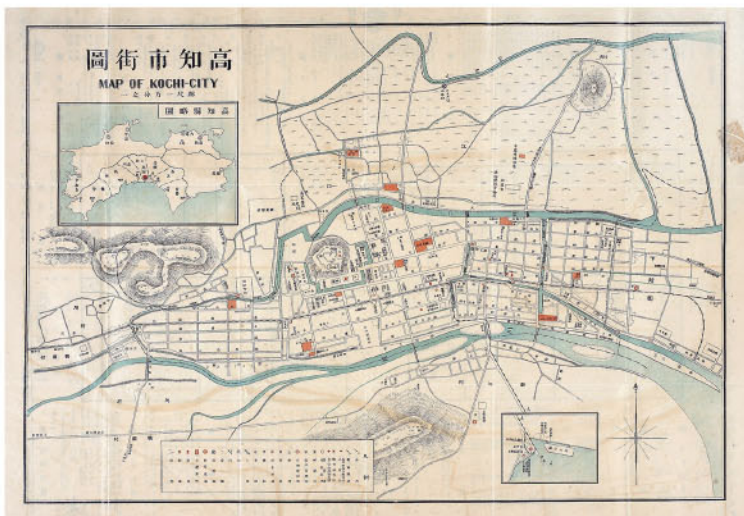
江戸時代の絵図や、近代の測量に基づく地図、さらに様々なテーマにフォーカスした主題図は、過去の時間と空間を封じ込めたタイムカプセルです。展示では、幕末維新の志士が活躍した舞台ともなった高知城下町の変遷を、絵図地図を使って地理的、視覚的に示します。この展示で、多くの人材を輩出した高知市の歴史に触れていただきたいと思います。

地図は語る

明治維新以後、高知市はどんどん変化してきました。その様子を最も知ることができるものは、地図ではないでしょうか。地図には正確に測量したものだけではなく、いろいろな種類があります。例えば、高知市の発展をたどるもの、都市計画や戦後復興に関するもの、博覧会や有名な商店を紹介したものや、鳥瞰図、観光案内のように楽しく見ることのできるものなど、多彩な世界が広がっています。かつて、伊野方面から棧橋に向かう路面電車が堀詰で右折して鏡川の北岸で左折、そしてさらに右折して潮江橋を渡り南進していたことをご存知ですか。地図で確かめてください。

絵図の楽しみ

「絵図」は地図の一種です。江戸時代までに作られた地図は、絵のように描かれているので「絵図」といいます。だから地図をみる楽しみと絵をみる楽しみがあります。また、「絵図」には筆の線や手書きの彩色など現代の地図とはまた違った味わいがあり、私たちの祖先の人々の体温が伝わってくるような懐かしさがあります。高知にも、江戸時代のお城や城下町を描いた絵図が残っています。様々な絵図の面白さを探し出してみてください。



「高知市街図」(高知市民図書館蔵)



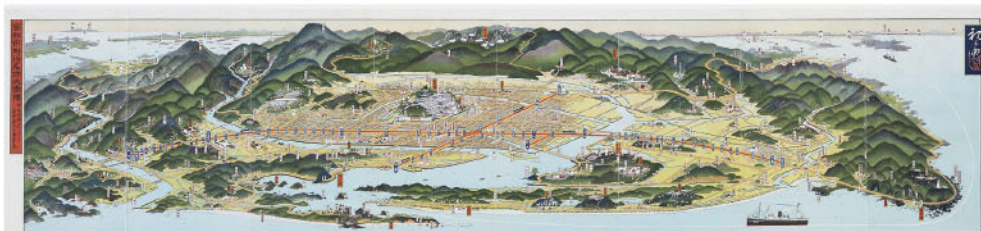
「下町浦戸湾風俗絵巻」より現在の「かるぽーと」付近(高知市民図書館蔵)

懐かしさと発見

絵図地図には、いろいろなその時代の情報が盛り込まれ、そこには今ではなくなったものもたくさん登場します。それに、古い順番に見ていくと町の変化がわかります。変化がわかると、変わったのはいつごろか、なぜ変わったのか、など次々と興味が広がっていきます。絵図地図を楽しみながら、高知市の歩みを振り返ってください。懐かしさや新たな発見が必ずあると思います。



- 【車利用】 JR高知駅より約10分 高知ICより約15分 駐車場(無料)車約60台、バス6台
- 【路面電車利用】 JR高知駅より約15分 「棧橋通4丁目」または「棧橋車庫前(自由民権記念館前)」下車
- 【バス利用】 JR高知駅より約15分 「棧橋通4丁目」下車



「高知市案内」(個人蔵)

